



あずっ子

人間市立東町小学校学校だより

5月 2日発行

発行者 校長 野口正孝

こどもも おびなも 元気いっぱい 東町小!

在籍児童数472名(5/2現在)

聞く 聴く 訊く

早いもので、あっという間に新しい学年になってから1カ月が経ちました。この1ケ月は子どもたちにとって新しい学年、新しい友達、新しい先生と、環境が大きく変わった期間でした。子どもたちにとっては緊張の毎日で疲れもたまってきていると思います。このゴールデンウィークで疲れが取れればよいと思います。

さて、本年度の本校の重点課題の一つに「話し合い活動を取り入れた授業」の実践を挙げています。授業の中に話し合い活動を取り入れ、「伝え合い、教えあい、学びあう」ことができる児童の育成が必要です。授業の中で学びあうためには、自分の考え、意見を相手に伝えることが大切です。そのために学校では、自分の考えをノートにまとめたり、社会科新聞のように調べたことを文書にまとめたり、学級活動の中で自分の意見を発表したり、様々な方法で自分の考えをアウトプットする活動が行われています。しかし、実は意外に子供たちができないのが、相手の話を「きく」ことです。

話を「きく」という意味の漢字は「聞く」「聴く」「訊く」と3つがあります。それぞれの漢字には意味があります。「聞く」は一般的な漢字です。音を耳で感じ取るという意味で使います。では「聴く」はどうでしょうか。これには集中して耳を傾けるという意味があります。「訊く」は相手に尋ねる、問うという意味があります。一口に「きく」といっても、様々な意味があるものです。では、これから子どもたちが身に付けていかなければならない「きく」はどれでしょうか。

1学期の始業式に、子どもたちには次のような話をしました。

(今年頑張ってほしいことは)先生や友達の話最後まで聞くということです。皆さんが大人になるまでに身につけなければならない力の一つは、話し合いで問題を解決する力です。そのためには、人の話をしっかり聴くことが大切です。そこで、今年は授業の中に話し合い活動をたくさん入れます。話し合いで大切なことは自分の考えを言葉にすることです。そしてそれを相手に伝えることです。でも話の途中で相手の意見を茶化したり、ばかにしたりしたらどうでしょう。話し合いになりませんよね。相手の話をしっかり聴いて、自分の考えを伝える。これがとても大切です。先生や友達の話最後までしっかり聴きましょう。

「話し上手は聞き上手」という言葉もありますが、話し合い活動は相手の意見や考えをしっかりと聞いたうえで自分の考えを伝えることが大切です。相手の意見を遮ったり、話の腰を折ったりしては学びあいにはなりません。日本の国会には「ヤジは国会の華」という言葉があり、話の途中にヤジを飛ばす文化があります。これには賛否両論があるようですが、子どもに国会の話し合いがお手本ですとは、私には到底言えません。低学年は自分の考えを伝えあい、中学年は互いに教えあい、高学年では意見交流を重ねながら学びあいができるよう、他者の話を聴くことを大切に授業を続けてまいります。

明日からゴールデンウィークの後半が始まります。新型コロナウイルス感染症予防、および交通事故に気を付け、しっかりリフレッシュしてください。また、ゴールデンウィーク明けには保護者面談があります。家庭と学校がしっかり連携していけるよう、参加をお願いいたします。お訊きになりたいことをあらかじめ用意していただくと、話し合いもスムーズになると思います。よろしく願いいたします。